

6 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。

高知工科大学においては、「[高知工科大学における内部質保証に関する方針及び体制等](#)」に基づき、全学的教職協働組織である「教職課程支援センター」が中心となって、教員の養成に係る教育の質の向上に取り組んでいる。教職課程支援センターは、教職課程科目を主に担当する教員、教職課程を有する学群の選出教員、教職課程支援室の事務職員から構成され、同じく全学的教職協働組織であり教育全般を統括する「教育センター」の下部組織となっている。

履修・学修・就職指導は主に教職課程支援センターが、教育課程や教育成果に関することは教育センターとの連携により実施し、センター会議における実状分析・議論等を通じ PDCI (Plan, Do, Check, Innovate) に取り組んでいる。

さらに、教職課程専任の教職員が参加する「教職課程定例会」を月2回程度開催し、教職志望学生の指導・支援にかかる具体的懸案事項の対応方針等を適切なタイミングで決定・共有することで、きめ細やかなサポートにつなげている。

教員の資質向上に関しては、本学では「教員評価システム」を導入し、教員に期待する項目及び基準を事前に提示したうえで年度ごとに数値による評価を行い、給与の増減や昇任の判断に用いている。このシステムには学生による授業評価も反映されており、授業評価結果が昇進や待遇に直接結びつくことから、教員の授業改善への強い動機付けとなっている。加えて、授業評価結果は成績分布とともに科目単位ですべての学生及び教職員に公開され、学生は科目履修に際し、アンケート結果に表れた授業の質を参考にできることから、教員は学生に選ばれる授業を行うため授業改善への努力を積極的に行うこととなり、教育の質向上に結びつく仕組みとなっている。

学生に対しては、高知県内の小・中・高校との連携により「学校サポーター制度」を設け、長期間の実践的インターンシップの機会を提供している。また教員採用試験対策として、模擬試験の学内実施や学内教員による面接指導、勉強会等に加え、教員採用試験対策講座、低学年向けの教職教養講座及び面接対策講座を実施し、さらにオンデマンド学習教材を提供するなど、対面とリモート双方の効果を最大限に活用し、教員を目指す学生が主体的・効率的に学ぶことができるよう支援している。そのほか、「教職課程支援室」を設置し学習環境を整備することで、次代の教員に必要な能力の育成、モチベーションの維持を図っている。

[教員採用試験受験者へのサポート体制](#)、[学校サポーター制度](#)

[教職課程における授業](#)

[教職志望学生によるサークル活動](#)